

スクールライフ!

鶴岡市にある10校の高等学校と高等専門学校。
その学校ならではの取り組みや活動を生徒・学生が紹介します。

No. 2 環境保全に関する取り組み/羽黒高校

【学校概要】 ○創立…昭和37年（工業高校として）
○学科…特進・国際・普通科、総合情報・機械システム・自動車システム学科 ○「産学一体」の建学の精神の下、生徒は伸び伸びと学校生活を送る。2004年にISO14001を認証取得し、学校全体で環境保全活動・環境教育に取り組んでいる



■「ISO14001」とは

国際標準化機構（ISO）が定める環境管理の国際規格で、企業等の組織が環境負荷を減らす仕組みを持っているかどうかを評価し、認証する制度。



生徒全員で
取り組んでいます
ごみの分別、
エコキャップ運動

■紹介者 [写真右から]

生徒会長/田中聖人さん（特進科3年生）
生徒会副会長/佐藤誠仁さん（普通科3年生）

学校で出たごみの量を減らすために、生徒全員で取り組んでいるのが「ごみの分別」です。毎日の清掃で集められる、種類ごとに分別されたごみ袋。その中に違う種類のごみが混じっていないか、分別の当番がチェックし、徹底して分別しています。

もう一つの取り組みが「エコキャップ運動」。校

内各所に設置しているペットボトルキャップ回収箱に入れられたキャップを、生徒会・生活委員会が集めて洗い、シールを剥がして保管する等、回収活動を行っています。これは、キャップのリサイクルだけでなく、世界の子供たちにワクチンを届ける活動にもつながり、とても良い取り組みだと思います。

どちらも一手間を掛けなければいけませんが、環境を守るために生徒全員が「当たり前のこと」として取り組んでいますし、今後も続けていきたいですね。



ごみの分別



エコキャップ運動



クラスの仲間と取り組んでいます
池の水質改善に関する研究

■紹介者 枝松賢美さん（自動車システム学科3年生）

ふと目についた校庭の池。見ると、水は緑色に濁り汚れていました。学校の憩いの場である池の水をきれいにしたい。これが研究に取り組むきっかけです。

この研究の当面の目標は、池の水を使って水耕栽

培ができるほどに水質を改善すること。今後は、池の中に水草を入れたり、長い時間水の中に均等に残留「マイクロバブル」という微細な泡を発生する装置を使ったりして、鶴岡高専の協力を得ながら水質を改善していく予定です。

研究が成功するように、仲間とアイデアを出し合っ



研究対象の池

▼日頃の備え

災害時に備え、非常持ち出し品の準備や「鶴岡市洪水ハザードマップ」で浸水想定区域や避難場所、避難経路を確認しましょう。

▼外にいるときは

ゲリラ豪雨で道路冠水が起きると側溝が見えにくくなり、転落するおそれがあります。また、マンホールから水が噴出することもありますので注意しましょう。

▼車に乗っているときは

国道等をくぐるアンダーパスは冠水する可能性があります。赤色の回転灯が点灯している場合は進入しないようにしましょう。

アンダーパスの設置場所は市HP「土木課」をご覧ください。

▼雨がやまないときは

洪水や土砂災害への注意と警戒が必要です。テレビやラジオなどで発表される情報に注意しましょう。

次のホームページで関連の情報を入手することができます。

▽豪雨情報：「山形県河川・砂防情報システム」、「気象庁山形地方気象台」

▽道路情報：「国土交通省山形河川国道事務所」、「同省酒田河川国道事務所」

〈本所防災安全課・土木課、消防本部〉